

令和8年度 地方創生に係る効果検証（令和8年度第5回行政評価委員会 内）

第3期福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業実施報告書 担当：地域コミュニティ課

基本目標	Ⅱ 魅力を増進し人を惹きつけるまちづくり	Ⅳ 安心して住み続けられるまちづくり
方向性	3 地域の魅力発信による域外との関係構築	3 地域コミュニティの活性化
具体的取組	① 関係人口の発掘と連携強化	② 地域づくり担い手の発掘と育成
事業計画期間	R4 ～ R7	R7総事業費 10,476,234円 R7交付金活用額 5,170,000円

事業概要

令和4年度～6年度の3年間で構築した業務に基づき、センター事業を公民連携型で運営します。以下業務委託において、「共働・共創支援人財（運営サポーター）の育成」に注力し、センターと関係するまちづくり人財の力を生かして、加速度的に事業効果が広がることを目指します。

【事業費について】
市民活動支援、連携・共働・共創支援のスキル・経験を有する民間事業者への業務委託料 10,476,234円



地域の多様な主体の参画

センターは公民連携型運営とし、行政、受託事業者による「事務局」と、学識経験者、地域自治関係者、社会教育関係者、民間事業者、市民等で構成される「未来共創会議」により運営しています。また、市内の市民活動団体、地域団体、小中高校等と連携していくとともに、市外の個人、大学、民間企業等を含め、多様な主体が市民活動に参画できる仕組みづくりを目指します。

KPI

↓第3期総合戦略における位置づけ、又は交付金計画上のKPI（「交」）かを記入			R7
KPI	Ⅱ- (3) ①	未来共創センターで関係人口が参画する事業数（事業）	目標値 3
			実績値 3
	Ⅳ- (3) ②	市未来共創センターが伴走する共働・共創プロジェクト数（事業）	目標値 5
			実績値 19
		市民の幸福度（風スコア）	目標値 592.9
			実績値 577.6
		市民の幸福度（土スコア）	目標値 433.5
			実績値 425.1
	交	共働・共創プロジェクト事業数（事業）	目標値 68
			実績値 125
		センターの関係人口数（人）	目標値 2,921
			実績値 4,736
		10代から30代のまちづくりへの参加率（%）	目標値 33.46
			実績値 25.94

令和7年度事業内容

令和7年度は、令和6年度までに構築した公民連携型の運営体制を本格実施へと移行し、人材育成・相談対応・体験機会の創出・市民活動間のコーディネート・情報発信を一体的に展開します。行政だけでは解決が難しい地域課題に対し、多様な主体の連携を促進し、持続可能な地域活動の基盤形成を図ります。

事業の評価

①相談・コーディネート
市民、団体、企業、学校、行政からの市民活動に関する相談対応を実施し、多様な主体同士の連携・共働を推進しました。活動目的や課題を整理し、登録団体・企業・行政部署等とのマッチング等を行うとともに、マッチング後も調整、伴走支援、事業実施までの継続支援を行いました。その結果、防災、教育、福祉、文化、環境など幅広い分野で新たな共働事業や継続的な連携が生まれました。

②人材育成
BA-School、市民活動講座、地域デビュー講座等を実施することで、市民活動に必要な企画立案、対話、ファシリテーション等を学ぶ機会を提供し、市民活動の担い手となる人材育成に取り組みました。

③体験機会創出
学校・企業等との連携による体験プログラム「ふくつたいけんプログラム」を展開し、市民が、多様な主体と関わりながら市民活動を体験する機会を創出しました。また、若い世代の地域活動への参画促進に繋がりました。

④連携・共働創出
教育、防災、福祉、健康、文化、環境など幅広い分野で、多様な活動主体のマッチングを実施し、防災フェスタ、環境シンポジウム、アート展示、高校・大学連携などの取り組みに繋がりました。

⑤伴走支援
プロジェクト運営支援、会議ファシリテーション、広報支援、関係者調整を実施し、市民活動団体への伴走支援を行いました。

⑥情報発信
ホームページやSNS等を活用し、市民活動団体が実施する取り組みや講座の紹介等を継続的に発信することで、市民活動の認知度向上と新たな参加者・相談者の獲得を図ることができました。

これらの取組により、行政単独では生まれにくい、多様な主体間の連携を創出・継続する中間支援機能として役割を果たし、市民活動の活性化と持続可能な地域づくりの推進に寄与しました。